碧南市民病院
ほほえみ
NO.72
令和3年10月1日発行
発行：碧南市民病院
病院長　亀岡 伸樹

基本理念

碧南市民病院は、「温かな心のこもった医療」の提供を病院の基本理念として掲げます。

基本方針

1.医の倫理にもとづいて、すべての人に平等に人格、権利を尊重して、心のこもった医療を行います。
2.質の高い医療を提供します。
3.安心の医療、心穏やかな医療を提供します。
4.救急医療、地域医療機関連携の推進をします。
5.健全な運営、管理を行います。

感染制御室のご紹介

当院では患者さんやご家族をはじめ、病院にかかわるすべての人たちを感染から守るために、2013年4月から専従者を配置して感染対策活動を行っています。感染対策の病院指針を最終決定する感染対策委員会を補佐し、感染対策チーム（ICT）・抗菌薬適正使用チーム（AST）とともに現場を確認し、組織横断的に感染管理活動を実施します。また西三河医療圏の他医療施設との連携会議を持ち、地域全体の感染管理の向上に繋がるよう活動しています。

体　制

2017年4月に医療安全管理室に配置され、その後2021年4月からは感染制御室として独立しました。

- 室長…… 杉浦　誠治（副院長、内科（呼吸器））
- 専従看護師…… 生田　幸江（看護師長）
- 看護師…… 西　尚美（看護主任）
- 事務員…… 鈴木真利那（医療安全管理室兼任）

目的と役割

目的

1. 院内で不要な感染症の発生や感染症が広がらないこと。
2. 地域全体の感染管理向上に貢献する。

役割

1. 感染防止対策および感染症治療が適切に行われる。
   - 感染症発生や抗菌薬使用状況・耐性菌の検出などについてデータを集積し、分析する。
   - 感染症治療および感染防止における問題を発見し、改善策を検討する。
   - 職員へ正しい知識、技術、改善策を指導し普及する。
2. 地域の医療と連携し、感染症治療や感染防止対策の向上に努める。

感染制御室のご紹介

体　制

サーベイランス
- 感染症発生の確認　感染経路の把握
- 院内環境の汚染状況、保菌者の把握
- 医療器具および手技関連の感染率、使用期間の把握とフィードバック
- 抗菌薬使用動向

コンサルテーション
- 感染症診療に関する相談
- 抗菌薬使用に関する相談
- 感染対策に関する相談

感染拡大防止対策、予防策、職員衛生管理
- アウトブレイク対策
- 院内感染症発生防止対策
- 針刺し、粘膜曝露対応
- 職業感染対策
  （抗体価保有状況確認　ワクチン推奨）

院内ラウンド
- 院内環境ラウンド
- 血液培養陽性者ラウンド

教育　啓発活動
- 講演会　学習会開催
- 院外講演会の実施
- 多施設共同研究
- 学術集会発表

感染対策委員会、感染対策チームの運営

マニュアル作成、改訂、整備

院外ネットワークの構築
- 多施設、地域医療との交流
- 行政機関の連携　協議会
- 院外からの相談窓口

感染対策チーム　ICT

毎週水曜日に環境ラウンドと隔週に部会を開催し、その他問題発生時やリスク拡大など必要に応じて活動します。

活動内容　患者さん、ご家族または院内で働くスタッフが感染症伝播、発生しないように環境ラウンドやコンサルテーションを通じて感染防止における現場対応の問題点の抽出及び改善を行います。

抗菌薬適正使用チーム　AST

毎週月曜日に血液培養陽性者およびコンサルテーション事例に対してカンファレンスをおこないます。

活動内容　感染症治療に対して最大限の治療効果を導くと同時に、有害事象を出来るだけ最小限にとどめ、いち早く感染症治療が遂行できる（最適化する）ように支援活動をします。

感染対策指針

当院ホームページ内PDFファイル
『碧南市民病院における感染対策のための取り組み』

リンク　http://hospital.city.hekinan.aichi.jp/media/kannsenntaisakusisin.pdf　をご参照ください。

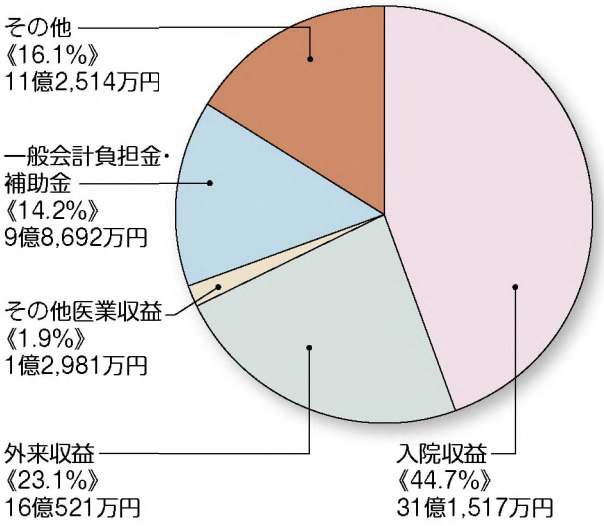
令和2年度 碧南市民病院事業会計決算報告

「温かな心のこもった医療」を提供するために

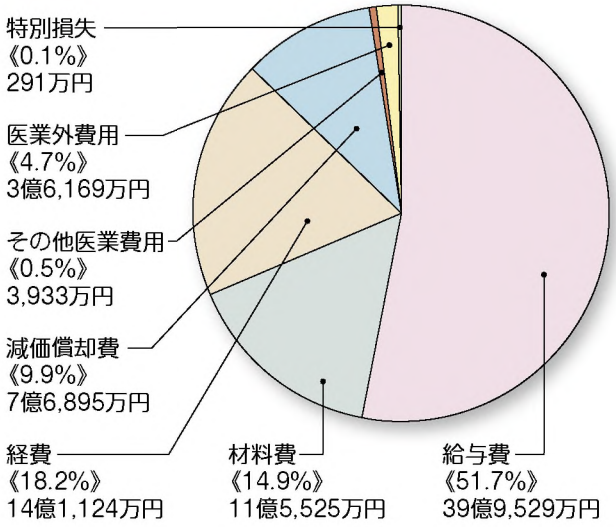
決算概要

新型コロナウイルス感染症が全世界で猛威を振るう中、当院においても4月に院内感染により12人の感染者が発生し、その感染拡大防止策として、4月7日から5月6日までの間、外来、入院、救急外来において診療制限を行いました。診療再開後も患者の受診控えなどの影響から、入院患者は63,196人（対前年度比24%減）、外来患者は125,884人（対前年度比22%減）と患者数が大幅に減少しました。そのため、医業収益は対前年度比11億2千8百万円余の減少となりました。しかしながら、医業外収益は、新型コロナウイルス感染症関連の補助金や寄附金の受け入れにより、10億4千2百万円余の増加となりました。結果として、令和2年度の経営状況については、病院事業収益69億6,225万円、病院事業費用は77億3,466万円で差引き7億7,241万円の純損失（前年度は10億1,878万円の純損失）と、前年度と比べて、2億4千6百万円余減少しましたが、依然として厳しい状況が続いています。

病院事業収益　69億6,225万円



病院事業費用　77億3,466万円



令和2年度 決算状況

		令和2年度	令和元年度	増減
入院	延べ患者数	63,196人	83,616人	△20,420人
	1日平均患者数	173.1人	228.5人	△55.4人
	診療単価	49,955円	46,831円	3,124円
	病床利用率	50.6%	66.5%	△15.9ポイント
外来	延べ患者数	125,884人	161,439人	△35,555人
	1日平均患者数	518.0人	667.1人	△149.1人
	診療単価	13,262円	12,594円	668円
病院事業収益		69億6,225万円	70億4,837万円	△8,612万円
病院事業費用		77億3,466万円	80億6,715万円	△3億3,249万円
単年度純損益		△7億7,241万円	△10億1,878万円	2億4,637万円

今後も地域のみなさんから「愛され、選ばれうる病院」として、医療の質の向上と経営改善に全力で努めてまいります。

EVENT NEWS イベントニュース

6月～8月

病院内で様々なイベント等をおこないました。
その一部をご紹介します。

R3 6/21～7/7 七夕飾り

今年も1階エントランスホールに、七夕飾りを設置いたしました。

皆様のお願い事も、短冊へご記入いただき飾り付けして頂きました。すべての皆様の願い事が叶います様に♪

R3 7/6 消火器・消火栓放水訓練

今日は火災の発生を想定して消火器・消火栓放水訓練を行いました。

医師や看護師、事務職員などの病院職員だけでなく、病院の管理・運営に協力していただいている企業のみなさんも合わせて49名参加しました。

まずは消火器の使い方を確認しました。

消火器の中身は水ですが、いざという時のためにみんな真剣です。

消火器を見たことはあるけれど、使ったことはない人が多いので、不慣れな人もいましたが、使い方を学ぶことができました。

つづいて、消火栓の使い方の説明を受け、順番にホースを持って実際に放水しました。

今回は訓練なので水圧は抑えてありますが、実際はしっかり持たないと、水の勢いでホースが手から離れてしまうそうです。

それぞれ多くの職員が使えるようになり、万が一の有事の際には初期消火がしっかりできるように、これからも訓練を通して防災意識を高めていきます。

向こう3か月間の行事予定

日　時	行　事　名	場　所
10月25日(月) 14:00～15:30	糖尿病教室 「年末年始、Xmasの食事の楽しみ方」	講義室(2階)
11月22日(月) 14:00～15:30	糖尿病教室 「身近なものを使った運動」	講義室(2階)
12月27日(月) 14:00～15:30	糖尿病教室 「合併症ってなに?～動脈硬化を防ぐために～」	講義室(2階)

※やむを得ない事情により日時等が変更になる可能性があります。あらかじめご了承ください。

このほかにも、患者さんやご家族の方向けの講座やイベントなどを開催していきます。
最新の情報はホームページ(http://hospital.city.hekinan.aichi.jp/feature/volunteer/)をご覧ください。